

地方独立行政法人桑名市総合医療センターの
令和元事業年度に係る業務実績に関する
評価結果

令和2年8月

地方独立行政法人桑名市総合医療センター評価委員会

年度評価の方法

本評価委員会は、地方独立行政法人桑名市総合医療センター（以下「法人」という。）について、「地方独立行政法人桑名市総合医療センターの業務実績に関する評価の基準」に基づき、法人の第3期中期計画の第1期事業年度である令和元事業年度の業務実績に関する評価を行った。

評価は、項目別評価と全体評価を行い、項目別評価では、法人による自己評価を基に法人へのヒアリングを通じて、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価を行った。また、全体評価では、項目別評価の結果を踏まえ、年度計画及び中期計画の進捗状況について、総合的な評価を行った。

I 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

小項目評価の平均点は3.4であり、また以下のことを考慮し、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、B評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 ー () 】は中項目番号及び小項目番号 〔小項目評価が4の項目〕

・【1－(1)】重点的に取り組む医療の実施

すべての項目において、計画値および前年度実績を上回っていること。特に、救急車搬送患者の受け入れ件数が、前年度より大幅に増加しており、診療体制が改善されていると評価できること。

・【1－(2)】地域医療連携の推進

紹介率、逆紹介率ともに計画値を大幅に上回っていること。特に、逆紹介率が100%を超えおり、紹介を受けた以上の患者を地域の医療機関へ紹介していると考えられること。

・【1－(3)】災害時及び重大な感染症の流行時における医療協力

DMA Tの整備、BCP計画の策定を行い、地域災害拠点病院の指定を受けたこと。

〔評価委員会で自己評価を3から4に変更した項目〕

・【2－(3)】研修医の受入れ及び育成

計画値を達成したということであるが、専攻医の在籍数については、高い目標を設定し、それを達成していることは評価できること。

・【４－（１）】

インシデントレポートのレベル０、１の件数が大幅に増加しているのは、リスク管理が徹底された結果であると評価できること。

(3) 小項目評価の集計結果

中項目	評価対象 小項目数	５：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	４：年度 計画を上 回って実 施してい る	３：年度 計画を順 調に実施 している	２：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	１：年度 計画を大 幅に下回 っている
１ 医療の提供	３		３			
２ 医療水準の向上	４		１	３		
３ 患者サービスの一層 の向上	３			３		
４ より安心して信頼でき る質の高い医療の提供	４		１	３		
合計	１４		５	９		

第２ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

中項目評価の平均点は２.８であり、また以下のことを考慮し、「業務運営や財務管理の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する大項目評価は、Ｂ評価（おおむね計画どおりに進んでいる）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項 【 】は中項目番号

〔評価委員会で自己評価を２から３に変更した項目〕

・【６】支出の節減

後発医薬品の使用率と給与費の対医業収益比率の実績値については、計画値を僅かに下回っているものの、全体としては予算計画を達成していること。

〔評価委員会で自己評価を３から２へ変更した項目〕

・【５】収入の確保

病床の稼働率については、ベッドコントロールチームを設置して効率的な病床運用に取り組み、効果が出ているものの、計画値を下回る結果となったこと。

(3) 中項目評価の集計結果

中項目	評価対象 項目数	5：年度 計画を大 幅に上回 って実施 している	4：年度 計画を上 回って実 施してい る	3：年度 計画を順 調に実施 している	2：年度 計画を十 分に実施 できてい ない	1：年度 計画を大 幅に下回 っている
1 適切かつ弾力的な人員配置	1			1		
2 職員の職務能力の向上	1			1		
3 職員の就労環境の整備	1			1		
4 効率的な業務体制の推進と改善	1			1		
5 収入の確保	1				1	
6 支出の節減	1			1		
合計	6			5	1	

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 評価結果と判断理由

「財務内容の改善に関する目標と達成するためとるべき措置」に関する評価結果は2であり、大項目評価は、C評価（計画よりやや遅れている）が妥当と判断した。

(2) 大項目評価に当たり考慮した事項

減価償却前利益が前年度より大幅に改善したものの、計画値には至らなかったこと。

II 全体評価

1 評価結果と判断理由

法人の令和元事業年度の業務実績については、3つの大項目評価の結果のうち、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」の二つがB評価であることに加えて、以下の点を考慮し、全体としては中期計画の達成に向け、おおむね計画どおりに進んでいると評価した。ただし、「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」についてはC評価に留まっていることから、より一層の業務運営の改善と効率化による安定した経営基盤の確立を求める。

2 全体評価に当たり考慮した事項（大項目評価に当たり考慮した事項以外のもの）

- (1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
 - ・地域医療センターを活用して、紹介状による診療の推進と、かかりつけ医を持つことについての啓発を行い、地域の医療機関との連携を強化していること。
 - ・BCP計画の策定については、桑名市総合医療センターのみならず、桑員地域全体における災害時の医療提供体制の整備に向けた取り組みを実施していること。
- (2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
 - ・事務部門での時間外労働時間が削減されているのは、新病院での業務運営が円滑に行われていると考えられること。
- (3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
 - ・ベッドコントロールチームの設置による病床稼働率の向上と、経営状況や経営課題についての情報の共有化による業務運営の改善に取り組み、昨年度より医業収益が増加していること。

3 評価に当たっての意見、指摘等

- ・小児医療については、二次医療機関として重症患者の受け入れをしているが、この地域には夜間に小児の診療を行う医療機関がないため、夜間の受入れ体制の強化を図ってほしい。
- ・診療待ち時間については、実測調査を実施し改善しているが、他の病院との比較分析についても検討してほしい。
- ・患者動線については、病院の構造上やむを得ないところもあるが、利用者から不便との声もあるため、可能な限り改善に努めてほしい。
- ・患者アンケート等での苦情件数は減少したとのことであるが、患者満足度調査を定期的の実施し、患者サービスの向上に繋げてほしい。